

奨励賞

表題	売上高調査システム刷新対応への貢献
氏名(よみがな)	上新 真衣(うえしん まい)
所属委員会	調査委員会
役職	委員
勤務先	日本電気(株)



受賞理由

調査委員会がJAHIS創立以来より毎年実施している、当業界の市場規模を示す売上高調査のシステム刷新開発を2023年度に実施した。上新委員は2023年2月より調査員会に参画し、同年4月より売上高システム刷新対応のタスクフォースメンバーとして、要件定義から受入試験まで一連の工程に参画した。

システム要件定義では、新規参画者ながら利用者目線で操作性等の意見提言を行い、要件定義の策定に貢献した。

受入試験時は、年度末で自社業務が繁忙の中、各委員が仮想会社として模擬的に登録した売上高データと新システムから出力される各種調査結果データの突合検証を担当し、システム結果が正しく出力されることを確認し、委員会で報告を行った。また、操作性に関する受入試験においても不具合、改善案を積極的に提示し、年度内のシステム更改完了に貢献した。

功績賞(グループ表彰)

表題	調査研究事業「医療DXの基礎となるシステム施策とその発展に向けた考察」の完遂
代表者氏名(よみがな)	清水 力(しみず ちから)
所属委員会	電子レセプト委員会 記載要領電子化WG
役職	サブリーダー
勤務先	(株)NTTデータ



表彰メンバ

氏名(よみがな)	所属委員会	役職	勤務先
西口 妙子(にしぐち たえこ)	電子レセプト委員会 記載要領電子WG	メンバ	日本電気(株)
二階堂 誠(にかいどう まこと)	同 上	メンバ	キヤノンメディカルシステムズ(株)
宮脇 伸次(みやわき しんじ)	同 上	メンバ	ウィーメックス(株)
古川 成道(ふるかわ なりみち)	同 上	メンバ	(株)NTTデータ
石川 幸司(いしかわ こうじ)	同 上	メンバ	富士通Japan(株)
柴田 学(しばた まなぶ)	同 上	リーダー	日本電気(株)

功績賞(グループ表彰)

受賞理由

一般財団法人医療保険業務研究協会・令和5年度受託事業(調査研究事業)「医療DXの基礎となるシステム施策とその発展に向けた考察」において、各社での日常業務とともに、医事コン・各委員会活動として厚生労働省・審査支払機関等への各種政策/施策の検討協力を行う中で培われた専門性を発揮し、各メンバが本調査研究に主体的に取り組んだ。各自分担した調査研究内容を持ち寄り、延べ18回に及ぶ全体ディスカッション、論文原案作成、論文レビューにて、その成果として約70頁におよぶ論文をまとめ上げた。

本調査研究は、医療機関現場の視点／ベンダ視点での現状分析・課題整理・改善提案で構成されており、各メンバのその高い専門性を持って、時節に応じた高いテーマ性に対して、深い見識を示し価値のある研究成果(論文)となっている。

本調査研究成果(論文)は、医療保険業務研究協会より、厚生労働省はじめ関係機関および一般に公開されることになっており、JAHISのプレゼンス向上への貢献はもちろんのこと、JAHIS会員が効率的に診療報酬業務の対応ができる環境作りにも十分に貢献するものとなっている。

功績賞(連名表彰)

表題	トリプル報酬改定と並行しての訪問看護レセプトのオンライン請求対応、オンライン資格確認対応の遂行
----	---

氏名(よみがな)	高橋 和彦(たかはし かずひこ)
所属委員会	介護システム委員会 医療訪問看護報酬改定対応WG
役職	リーダー
勤務先	(株)日立システムズ



氏名(よみがな)	石川 竜太(いしかわ りゅうた)
所属委員会	介護システム委員会 医療訪問看護報酬改定対応WG
役職	サブリーダー
勤務先	(株)カナミックネットワーク



氏名(よみがな)	今村 将訓(いまむら まさのり)
所属委員会	介護システム委員会 医療訪問看護報酬改定対応WG
役職	サブリーダー
勤務先	(株)南日本情報処理センター



受賞理由

かつてない介護システム環境の激変のさなか、訪問看護の診療報酬改定対応、オンライン請求、及びオンライン資格確認対応において、関係機関との連携・調整・意見具申、要望や疑義照会とりまとめ、対外活動などにおいて、中心的な役割を担い、WG運営と会員様サービス向上に大きく寄与した。

1. 厚生労働省の「訪問看護療養費のレセプト電子化及びオンライン請求の促進事業に関する調査事業検討会」の対外活動
⇒対外活動で得られた情報を適時適切に会員へ共有することで対応の円滑化が図られた。
2. 事業者団体(公益財団法人 日本訪問看護財団様)との連絡調整ルートの新規確立
⇒事業者側の状況把握が行いやすくなり、現場の実態に即した対応や会員への情報提供ができるようになった。
3. 会員からの疑義照会を収集し、複数の疑義照会ルートを駆使して回答をとりまとめ、ファイル共有サービスで会員にレスポンス良く情報発信し、新運用となるオンライン請求、オンライン資格確認の準備のスムーズな推進に貢献した。

令和6年度報酬改定	： 厚生労働省	18件中、	5件回答
オンライン請求	： クニエ(事務局窓口)	38件中、	37件回答
オンライン資格確認	： 支払基金	263件中、	227件回答

4. 多数の情報入手ルートからの情報を適時、適切に整理し、情報提供資料にまとめて委員会、医療訪問看護報酬改定対応WGの場で説明を実施したり、ファイル共有サービスで会員にレスポンス良く情報発信することで、会員のスムーズな対応に貢献した⇒58回(3月末まで 説明会等を含む)

功績賞(グループ表彰)

表題	電子処方箋運用における薬局レセコンと電子薬歴システムの連携仕様書 Ver.1.0 の制定
代表者氏名(よみがな)	守屋 和昭(もりや かずあき)
所属委員会	調剤システム委員会 調剤標準化分科会
役職	リーダー
勤務先	三菱電機ITソリューションズ(株)



表彰メンバ

No.	氏名(よみがな)	所属委員会	役職	勤務先
2	中湖 豊明(なかこ とよあき)	調剤システム委員会 調剤標準化分科会	サブリーダー	ウィーメックスヘルスケアシステムズ(株)
3	野本 禎(のもと ただし)	同上	サブリーダー	東日本メディコム(株)
4	佐藤 夏苗(さとう かなえ)	同上	メンバ	(株)EMシステムズ
5	井出 真司(いで しんじ)	同上	メンバ	ウィーメックス(株)
6	塩野 芳直(しおの よしなお)	同上	メンバ	ウィーメックス(株)

功績賞（グループ表彰）

表題 電子処方箋運用における薬局レセコンと電子薬歴システムの連携仕様書 Ver.1.0 の制定

No.	氏名(よみがな)	所属委員会	役職	勤務先
7	竹中 裕三(たけなか ゆうぞう)	調剤システム委員会 調剤標準化分科会	メンバ	ウィーメックス(株)
8	金田 恵(かねだ めぐみ)	同上	メンバ	(株)カケハシ
9	柴田 征宏(しばた まさひろ)	同上	メンバ	(株)カケハシ
10	中尾 豊(なかお ゆたか)	同上	メンバ	(株)カケハシ
11	下平 宏一(しもひら こういち)	同上	メンバ	(株)くすりの窓口
12	山口 遊生(やまぐち ゆう)	同上	メンバ	(株)くすりの窓口
13	星野 恒行(ほしの つねゆき)	同上	メンバ	(株)グッドサイクルシステム
14	小池 裕子(こいけ ひろこ)	同上	メンバ	(株)ズー
15	関 晃広(せき あきひろ)	同上	メンバ	(株)ズー
16	森 昌典(もり まさのり)	同上	メンバ	(株)ズー
17	泉谷 理(いずたに おさむ)	同上	メンバ	(株)ソラミチシステム

功績賞（グループ表彰）

表題 電子処方箋運用における薬局レセコンと電子薬歴システムの連携仕様書 Ver.1.0 の制定

No.	氏名(よみがな)	所属委員会	役職	勤務先
18	岡田 辰也(おかだ たつや)	調剤システム委員会 調剤標準化分科会	メンバ	(株)ソラミチシステム
19	近内 誠(こんないまこと)	同上	メンバ	(株)ソラミチシステム
20	高田 一功(たかだ いっこう)	同上	メンバ	(株)ソラミチシステム
21	安部 紘希(あべ ひろき)	同上	メンバ	(株)DB Studio
22	井上 翼(いのうえ つばさ)	同上	メンバ	(株)DB Studio
23	安田 智暁(やすだ ともあき)	同上	メンバ	(株)DB Studio
24	勝田 暢也(かつた のぶや)	同上	メンバ	(株)ネグジット総研
25	高橋 載征(たかはし としゆき)	同上	メンバ	(株)ネグジット総研
26	武井 心彩(たけい しんさい)	同上	メンバ	東日本メディコム(株)
27	広井 嘉栄(ひろい かえい)	同上	メンバ	(株)ファルモ
28	清水 克彦(しみず かつひこ)	同上	メンバ	ウィーメックスヘルスケアシステムズ(株)

功績賞（グループ表彰）

表題 電子処方箋運用における薬局レセコンと電子薬歴システムの連携仕様書 Ver.1.0 の制定

No.	氏名(よみがな)	所属委員会	役職	勤務先
29	濱田 悟(はまだ さとる)	調剤システム委員会 調剤標準化分科会	メンバ	ウィーメックスヘルスケアシステムズ(株)
30	松岡 智世(まつおか ともよ)	同上	メンバ	ウィーメックスヘルスケアシステムズ(株)
31	本田 卓也(ほんだ たくや)	同上	メンバ	ホワイトヘルスケア(株)
32	鮎川 稔(あゆかわ みのる)	同上	メンバ	三菱電機ITソリューションズ(株)
33	矢澤 浩(やざわ ひろし)	同上	メンバ	三菱電機ITソリューションズ(株)
34	宮島 毅(みやじま つよし)	同上	メンバ	三菱電機ITソリューションズ(株)
35	八木 さとし(やぎ さとし)	同上	メンバ	(株)メディカルフロント
36	大久保 公寛(おおくぼ きみひろ)	同上	メンバ	(株)ユニケソフトウェアリサーチ
37	加藤 明(かとう あきら)	同上	メンバ	(株)ユニケソフトウェアリサーチ
38	高橋 雄一(たかはし ゆういち)	同上	メンバ	(株)ユニケソフトウェアリサーチ
39	田中 裕(たなか ゆたか)	同上	メンバ	(株)ユニケソフトウェアリサーチ

功績賞（グループ表彰）

受賞理由

2023年1月から電子処方箋の本格運用が開始された中、薬局における電子処方箋運用において、薬局内システム間(薬局レセコンと電子薬歴システム)におけるインターフェース仕様は定義されておらず、各ベンダーにて独自インターフェース仕様が構築されることにより、薬局内のシステム連携が煩雑になり薬局業務に支障が出る可能性があった。

これを解決するため、電子処方箋運用における薬局内システム間の共通的な連携仕様の構築することを目的とし、調剤システム委員会 調剤標準化分科会が連携方法やデータセット項目の検討を行い、2023年9月に技術文書として公表した。

技術文書策定にあたっては、厚生労働省や日本薬剤師会など他団体との意見交換会を実施する等、関係者との調整に苦心しながら作業を進めた。

本技術文書は、薬局における電子処方箋普及に向け、JAHISのプレゼンス向上への貢献はもちろんのこと、会員ベンダーが効率的にシステム連携できる環境作りに貢献するものとなっていく事を期待されている。

奨励賞

表題	IHE-PaLM国際会議への積極的なキャッチアップ
氏名(よみがな)	深川 一成(ふかがわ かずなり)
所属委員会	検査システム委員会 臨床検査システム専門委員会
役職	委員
勤務先	(株)エイアンドティー



受賞理由

臨床検査システム専門委員会の年度計画活動の一環である、「海外活動強化とJAHIS活動との連携 (IHE-PaLM 国際会議の参加)」において委員登録から間もない中、IHE-PaLM国際会議の参加メンバーへ新たに加わり、当専門委員会内へ情報共有を行った。

功績賞

表題	HIS向け医療材料マスターの提供ガイドVer.1.2の制定
氏名(よみがな)	岡本 重敏(おかもとしげとし)
所属委員会	部門システム委員会 物流システム専門委員会
役職	専門委員長
勤務先	富士通Japan(株)



受賞理由

JAHIS技術文書「HIS向け医療材料マスターの提供ガイド」の改定にあたり、作成に携わる会員各社との意見調整や、制定にあたりポイントとなるGS1 Japan(一般財団法人流通システム開発センター)との連携や調整等において、中心的な役割を担って活動を牽引し、2024年3月「HIS向け医療材料マスターの提供ガイドVer.1.2」を制定した。

功績賞

表題	JAHIS「製造業者/サービス事業者による医療情報セキュリティ開示書」ガイド Ver.4.1 (MDS/SDS)の制定等
氏名(よみがな)	下野兼揮(しものかねき)
所属委員会	セキュリティ委員会 JAHIS-JIRA合同開示説明書WG
役職	リーダー
勤務先	(株)グッドマン



受賞理由

JAHIS-JIRA合同開示説明書WGリーダーとして改定作業をリードし、JAHIS標準「JAHIS「製造業者/サービス事業者による医療情報セキュリティ開示書」ガイドVer.4.1 (MDS/SDS)」の制定作業を完遂し出版した。

また、WGリーダーとしてチェックリスト改定、安全管理ガイドライン第6.0版対応マッピングシート作成などの作業をとりまとめ、適切なタイミングで公開を実施した。

医療法改正に基づくチェックリストにMDS/SDSが掲載されたことにより、JAHIS会員や会員外から関連質問が大量に来るようになったが、戦略企画部と協力して適切に対処を実施した。

功績賞

表題	セキュアトークン関連のJAHIS技術文書およびJAHIS標準の改定等
氏名(よみがな)	谷内田益義(やちだますよし)
所属委員会	セキュリティ委員会 セキュアトークンWG
役職	リーダー
勤務先	(株)リコー



受賞理由

セキュアトークンWGリーダーとして改定作業をリードし、JAHIS技術文書「JAHISセキュアトークン実装ガイド・機器認証編Ver.1.1」、「JAHISセキュアトークン実装ガイド・ノード認証編 Ver.1.2」の制定作業を完遂し出版した。また、JAHIS標準「JAHIS HPKI対応ICカードガイドラインVer.3.1a」の制定作業を進め、原案審査、パブリックコメント対応は終了し、2023年3月の医療システム部会で最終原案が承認された。2024年度に制定予定である。

また、WGリーダーとして3つのJAHIS標準類の改定にあたり、適切なWG運営を行い、円滑に改定作業を実施した。

JAHIS技術文書「JAHISセキュアトークン実装ガイド・機器認証編Ver.1.1」の付属文書として実装例を作成した。

功績賞

表題	JAHIS注射データ交換規約Ver.2.2Cの制定
氏名(よみがな)	西岡 太郎(にしおか たろう)
所属委員会	相互運用性委員会 注射処置標準化WG
役職	リーダー
勤務先	日本電気(株)



受賞理由

注射処置標準化WGリーダーとして改定作業をリードし、2024年1月にJAHIS標準「JAHIS注射データ交換規約Ver.2.2C」を制定した。

功績賞

表題	次世代データ交換技術WGの立ち上げおよび学会講演
氏名(よみがな)	宮川 力(みやかわ りき)
所属委員会	相互運用性委員会 次世代データ交換技術WG
役職	リーダー
勤務先	(株)ファインデックス

写真なし

受賞理由

新設された次世代データ交換技術WGリーダーとして、第43回医療情報学連合大会のチュートリアルA-6 (第87回HL7セミナー)において、本WGの活動内容をまとめて講演を行い、この新しい技術標準に対するJAHISの取り組みを学会参加者にアピールすることができた。

本WGは次世代のデータ交換技術であり、医療DXでも採用されているHL7 FHIRなどの新しい技術標準について、卓越した知識とスキルを発揮して情報共有と意見交換をリードした。

功績賞

表題	診療情報提供書FHIR記述仕様のマルチベンダでの国内初の実装検証
氏名(よみがな)	窪田 成重(くぼた なるしげ)
所属委員会	相互運用性委員会 データ互換性専門委員会
役職	専門委員長
勤務先	富士通Japan(株)



受賞理由

データ互換性専門委員会専門委員長として、今年度のデータ互換性実証実験を2/19～2/22にかけて開催した。厚生労働省標準であり医療DXでも採用されている診療情報提供書HL7 FHIR記述仕様に沿ってシナリオを作成し、診療情報提供書の実装検証を行った。この実装検証は、HL7 FHIRによるマルチベンダでの診療情報提供書の検証は国内初で、電子カルテベンダ3社が参加し、全社参加シナリオすべて合格となった。実験を通してHL7 FHIRや記述仕様に関して様々な知見が得られ、今後の医療DXの実装に向けて有益な実験となった。

実証実験の成果として、報告書および実験で使用したHL7関係のツールを一般向けに修正した「HL7 メッセージ作成支援ツールVer.1.11」を作成した。

功績賞(連名表彰)

表題	JAHISヘルスケアPKIを利用した医療文書に対する電子署名規格の改定等
----	--------------------------------------

氏名(よみがな)	有馬一閣(ありまくにはる)
所属委員会	セキュリティ委員会 HPKI電子署名規格作成WG
役職	リーダー
勤務先	(株)NTTデータ



氏名(よみがな)	酒巻一紀(さかまきかずのり)
所属委員会	セキュリティ委員会 HPKI電子署名規格作成WG
役職	メンバ
勤務先	三菱電機インフォメーションシステムズ(株)



氏名(よみがな)	宮崎一哉(みやざきかずや)
所属委員会	セキュリティ委員会 HPKI電子署名規格作成WG
役職	メンバ
勤務先	三菱電機(株)



功績賞(連名表彰)

表題

JAHISヘルスケアPKIを利用した医療文書に対する電子署名規格の改定等

受賞理由

JAHISヘルスケアPKIを利用した医療文書に対する電子署名規格Ver.3.0の制定において主導的な役割を果たし、新規性の高いJAdESフォーマットの組み込みを実施した。また、ISO/TC215におけるフィードバックをJAHIS標準原案に反映し、国際標準との整合性を確保する作業を実施し、2023年3月制定した。

上記の成果をISO/TC215WG4にて改定中のISO17090-4(HPKIを用いた電子署名)に対するINPUTとして作成し、JAHIS標準とISO17090-4の整合性確保について貢献した。

(ISO17090-4は現在CD投票の直前まで来ており、JAHIS標準との整合性を確保した状態となっている)

電子カルテ情報共有サービスの検討において電子署名の必要性や形式について検討を実施し、JAHISと厚生労働省、支払基金等との検討会議にて意見具申を行い、電子署名フォーマット策定に対する貢献を行った。

功績賞(グループ表彰)

表題	JAHIS ePath実装ガイドver1.0の制定
代表者氏名(よみがな)	根来 亮介(ねごろ りょうすけ)
所属委員会	電子カルテ委員会 ePath実装ガイドWG
役職	リーダー
勤務先	(株)ソフトウェア・サービス



表彰メンバ

No.	氏名(よみがな)	所属委員会	役職	勤務先
2	太田 聡司(おおた さとし)	電子カルテ委員会 ePath実装ガイドWG	サブリーダー	富士通Japan(株)
3	高山 秀昭(たかやま ひであき)	同上	メンバ	(株)SBS情報システム
4	塚田 智(つかだ さとし)	同上	メンバ	亀田医療情報(株)
5	中村 友哉(なかむら ともや)	同上	メンバ	(株)シーエスアイ
6	永田 有希(ながた ゆうき)	同上	メンバ	(株)シーエスアイ
7	新林 拓磨(にいばやし たくま)	同上	メンバ	(株)ソフトウェア・サービス

功績賞(グループ表彰)

表題 JAHIS ePath実装ガイドver1.0の制定

No.	氏名(よみがな)	所属委員会	役職	勤務先
8	松本 崇志(まつもと たかし)	電子カルテ委員会 ePath実装ガイドWG	メンバ	(株)ソフトウェア・サービス
9	岡田 靖士(おかだ やすし)	同上	メンバ	日本電気(株)
10	駒井 理弘(こまい としひろ)	同上	メンバ	日本電気(株)
11	杉原 志穂(すぎはら しほ)	同上	メンバ	日本電気(株)
12	高瀬 博之(たかせ ひろゆき)	同上	メンバ	日本電気(株)
13	木村 雅彦(きむら まさひこ)	同上	メンバ	日本アイ・ビー・エム(株)
14	井上 貴宏(いのうえ たかひろ)	同上	メンバ	富士通Japan(株)
15	道家 直之(どうけ なおゆき)	同上	メンバ	富士通Japan(株)
16	越島 康介(こしじま こうすけ)	同上	メンバ	富士フイルム(株)
17	中村 道範(なかむら みちのり)	同上	メンバ	(株)両備システムズ

功績賞(グループ表彰)

受賞理由

JAHIS ePath実装ガイドは電子カルテシステムベンダーが「ePathのデータ要素と構造に関する仕様書」(Ver.1.0.1)に準拠したパスシステムの開発を進める上で、仕様書を齟齬なく理解するための補助的な役割を担うことを目指した。

これによりePathの普及が進み電子カルテシステムベンダーの間での相互運用性のある電子クリニカルパスシステムの構築、標準化されたパスのデータの蓄積と解析によるクリニカルパスの最適化、更には医療安全の向上と医療の効率化に寄与することを目指して策定を開始した。

その策定にあたり、まずはePathプロジェクト参加メンバーと不参加メンバーの知識レベルの差を埋めるため、知識の底上げと共有から始め、次に各社分担しドキュメントを1から作成し、それをメンバー全員でレビューを繰り返し行う事で精度の向上と記載レベルの均一化を図っていった。

日本医療情報学会およびクリニカルパス学会と緊密に連携を取り、随時確認を取りながら進めることで内容の精度の向上と充実を図り、2023年10月に無事制定した。

JAHIS 部会名： 医療システム部会

功績賞(グループ表彰)

表題	JAHIS内視鏡DICOM画像データ規約Ver.3.0の制定
代表者氏名(よみがな)	尾崎 孝史 (おざき たかし)
所属委員会	検査システム委員会 内視鏡部門システム専門委員会
役職	委員
勤務先	オリンパスメディカルシステムズ(株)



表彰メンバ

No.	氏名(よみがな)	所属委員会	役職	勤務先
2	龍田 岳一 (たつた たけいち)	検査システム委員会 内視鏡部門システム専門委員会	専門 委員長	富士フィルム(株)
3	大森 真一 (おおもり しんいち)	同上	委員	オリンパスメディカルシステムズ(株)
4	三浦 悟朗 (みうら ごろう)	同上	委員	富士フィルム(株)
5	越後 洋一 (えちご よういち)	同上	委員	日本光電工業(株)

功績賞

受賞理由

JAHIS標準「JAHIS内視鏡DICOM画像データ規約Ver.2.0」を改定し「同Ver.3.0」を公開した(2023.8)。本JAHIS標準は、DICOM Standard (以下DICOM規格) 2018e版を参照していた前版から23回分のDICOM規格の改定差分に対応し、Ver.3.0発行時最新であったDICOM規格 2023c版に対応したものである。内視鏡検査では、まだDICOMが広く普及しているとは言えないが、PACSでの画像管理が徐々に増えてきており、内視鏡検査のDICOMによる取扱いが注目されている。このため、本JAHIS標準を最新のDICOM規格に整合させる作業は重要であった。

本改定は、定期見直しにて「要改定」と判断したのが改定の端緒だが、「改定A」の作業承認時(2022.8)に設定した原案納期(2024.1)より大幅に前倒しし、2023.5に原案承認、2023.8に最終原案承認・発行できたが、359ページの大著にもかかわらず、短期かつ少人数(5人)で改定を完了させた。DICOM規格本体の改定のペースが速いため、作業期間が長引けば長引くほど改定工数が増加して完成が危ぶまれる可能性があるという危機感を持ち、効率よく作業を進めることに注力したことは、特筆すべきことである。

※同じメンバーにて、JAHIS標準「JAHIS内視鏡検査レポート構造化記述規約Ver.1.0」で引用される日本消化器内視鏡学会 JEDプロジェクト(Japan Endoscopy Database)用語集の国際コード(LOINCコード)取得活動や、標準の普及推進活動として日本IHE協会のコネクタソンの内視鏡部門の審査活動への協力、日本医療情報学会 NEXEHRIS研究会 HL7 FHIR日本実装検討WGで策定作業が進められたHL7 FHIR JP Core実装ガイドVer.1.1.2にて追加された内視鏡関係のプロファイル(JP Core DiagnosticReport Endoscopy, JP Core ImagingStudy Endoscopy)の技術的検討に、内視鏡部門システムの業界側知見者として協力するなど、内視鏡部門システム分野の標準化に継続的に貢献している。

功績賞

表題	JAHIS国際活動活性化への貢献(10回の国際会議への対面参加と情報共有)
氏名(よみがな)	塩川 康成(しおかわ やすなり)
所属委員会	国際標準化委員会
役職	委員
勤務先	キヤノンメディカルシステムズ(株)



受賞理由

コロナ禍明けまもなくで海外渡航が困難な年度初頭から、下記10回の国際会議に対面参加し、会議の内容等を報告書にまとめ情報共有を行うとともに、JAHIS国際活動の活性化に大いに貢献した。

- ①HIMSS23シカゴ大会(2023年4月)、②HIMSS23 EU リスボン大会(6月)、③RSNA2023(11月)、④IHE Radiology Planning & Technical Joint Committee (11月)、⑤IHE International Board (11月)、⑥DICOM DSC (11月)、⑦IHE Radiology Technical Committee (2024年2月)、⑧HIMSS24オーランド大会(3月)、⑨IHE Global Deployment Committee (3月)、⑩IHE International Board (3月)上記対面参加の他にも、DICOM DSC(2023年8月、2024年3月)等に、オンラインで参加した。

※なお、上記国際会議の中での以下のような活動によって、日本およびJAHISのプレゼンス向上に貢献した。

- ① 11月のIHE Radiology Technical Committeeでは、日本IHE協会と協力して、日本におけるCAM(Contrast Administration Management)プロファイルの検証報告を行った。このことによってEUでもContrast情報の重要性の意識が高まり、来年度のコネクタソンで募集をかけたいとの声があがった。
- ② 2月のIHE Radiology Technical CommitteeにおいてIDR(Imaging Diagnostic Report)プロファイル TI(Trial Implementation)レビューの際に、FHIRでの実装要件の中で日本側の解釈と相容れない課題箇所について指摘を行い、審議を継続させることができた。

奨励賞

表題	オンデマンドセミナー用ツールの評価および導入推進
氏名(よみがな)	齋藤 英夫 (さいとうひでお)
所属委員会	事業推進部 事業企画委員会
役職	副委員長
勤務先	富士フイルム(株)



受賞理由

2023年6月より事業企画委員会に参画し、長年にわたり会員から要望があったオンデマンド形式でのセミナー開催に向けたツールの検討を前任者より引継ぎ、ツールの評価、運用組立、実行部隊への引継を終了させた。

ツールの評価においては、実際の運用を想定した運用を組み立てた。また評価者として、委員会内部のメンバーに加え、会員会社の社員を募ることにより、40名を超える人員を集め、多角的な評価データの収集を実現した。収集データの分析とツール特性を総合的に判断して採用を決定した。

採用に向けては運用のための資料を作成する傍ら、ツール提供会社との折衝も担当し、2024年度の教育コース(医療情報システム入門、介護請求システム入門)での採用に繋げた。

JAHIS 幹部の功労に対する表彰について

JAHIS規定 第5004号「幹部表彰規程」での今年の対象者	
氏名(よみがな)	田中 利夫 (たなか としお)
就任期間	60ヶ月
勤務先	キヤノンメディカルシステムズ(株)

